

2023～2024年度クラブ目標

創立1986年

『みんなが楽しい ロータリー』



世界に希望を生み出そう

2023-24年度国際ロータリーテーマ

会長 佐藤 幸彦
幹事 村上 堅二

第1801回例会

令和6年4月11日 (18:30～19:30)



○ソング

- 四つのラスト

○スマイルBOX

- 佐藤幸彦会長（結婚記念日プレゼント頂きました。運転免許、無事故無違反43年となりました。阿部会長エレクト、研修報告ありがとうございました。）
- 永野文雄会員（阿部会長エレクト、卓話ありがとうございました。いよいよ本番です。頑張ってください。）
- 宮本多可夫会員（桜も咲きました。今月は、ダブルでお祝いをいただきました。）
- 居川孝男会員（本日、無事41回目の結婚記念日を迎える事ができました。今後とも妻を愛しつづけたと思っています。）
- 金田昇会員（阿部次年度会長、PETS参加報告ありがとうございました。いよいよスタートラインです。元気に、ごいっしょにロータリーを楽しみましょう。）
- 十文字光伸会員（先日は誕生日プレゼントありがとうございました。次年度、幹事ががんばります。）

▶第1801回例会出席状況 (R6年4月11日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	50名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	19名
Ⓓ 全正会員数	69名
Ⓒ ①の出席者数	22名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	0名
Ⓕ ②の出席者数	15名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	37名
Ⓗ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	65
Ⓘ = ⑥ / ⑨ × 100 (例会出席率)	56.9%

【今週の仮メイクアップ会員】

- 4月8日 深谷ノースRC交流事業
佐藤幸彦、村上堅二、山口治、大竹憂子、藤田龍文、高畠裕、関谷亮一、中目公英、永野文雄、松永紀男、吉成真五郎、山縣栄寿、十文字光伸、金田昇

本日のプログラム

■会長の時間

佐藤幸彦会長



皆さん、こんばんは。

私3月生まれでございます、先月が誕生日プレゼントいただきまして、今月が結婚記念日いただきました。

誕生日を迎えましたので何回か前の例会で言ったんですが、私、運転免許無事故無違反40年以上と言ったんですが、本当に果たしてそうだったのかということで、無事故無違反の証というのを貰えるんですね。これ石部会員が白河警察署時代に担当されたかと思うんですけども、どなたでも貰うことができます。こういうやつなんですけど、映せればいいんですけど無事故無違反の証。持ってる方もいらっしゃると思うんですが、これには5段階ございまして、スーパーゴールド、ゴールド、シルバー、ブロンズ、グリーン、スーパーゴールドですと20年以上ですとこういう、私ここで43年っていう証が書いてあるんですけども、43年間無事故無違反、常に安全運転してますので。このSDカード貰いますとですね、いろんな宿泊費とか飲食店、ガソリンスタンド等で登録店であれば5%~10%の割引あるんですね。皆さんも是非取られるといいかと思えます。これは白河警察署行きまして、確か650円だったと思うんですけども、郵便局行って振り込みますと一週間後に送られてくる。もしくは、インターネットからでもできますので、是非やってみてください。このスーパーゴールドの20年以上ですね。ゴールドが10年以上。シルバーが4年以上。ブロンズが2年以上。グリーンが1年以上ということで、どなたでも貰える。是非やってみてはいかがかなと思えます。さて、ロータリーの話なんですけど、去る4月1日、女性会が「ブルーミングカフェ」で行われました。富岡ロータリーの西山由美子さんをお招きし、ロータリー活動への女性参画ということでお話をいただき、これから西ロータリーにも女性会ができてくるような形になってくのではないかと思いますので、是非期待していただきたいと思えます。

それに今週の月曜日でございますが4月8日、深谷ノースロータリークラブとの交流会が行われました。出席された会員の皆様、大変お疲れ様でございました。深谷ノースロータリークラブさんは姉妹ロータリーになってるのは皆さんご存じかと思うんですが、ちょうど震災の年だったんですね。2011年6月に姉妹締結

を結んでおります。我がクラブにはもう一つ沖縄コザロータリークラブという姉妹クラブがあるのは皆さんご存じかと思いますが、大変申し訳ございません。今年はまだ交流会をできてないんですが、深谷ノースさんとは無事やることができました。これも非常に、突然深谷市長のほうからの依頼ということもあったようございまして。深谷市長と私、初めて会ったんですが、ちょっと小さくて見えないかもしれませんが一万円札、要するに渋沢栄一さんをかたどったような7月3



日に新一万円札が出るそうでございますので、これが深谷市長の名刺なんですね。非常にインパクトのある名刺と一緒に参加された方は名刺交換したかと思えますけども、是非期待したいと思えます。その4月8日でしたが、白河市長室におきまして深谷市長、また深谷ノースロータリーの川島会長、小野幹事と、あとわたくしとうちのメンバー、金田会員含め2~3人という形でちょっとお話をした後、その後「グランドエクスシブ」に移しまして交流会を重ねることができました。詳しいことは後程、中目会員のほうから報告いただけるかと思えますので、どうぞよろしくお願ひしたいと思えます。これをきっかけに渋沢栄一を軸にして広がってる姉妹、または友好ということでございまして、今後両市の発展、またロータリーの発展となることを期待しております。それと最後でございますが、これ突然今日貰ったんですが、山縣会員が作ってくれた西ロータリー会員名簿一覧っていうの、これ山縣さんご苦勞様でございます。非常に参考になる、歴代会長名幹事名はわかるんですが、その年に誰が入会したかというの、これを本当に見て私すごいなと思えました。作るの大変だったですよ。ご苦勞様でございました。それでは今日は、阿部会長エレクトの研修報告会ということでございまして、いよいよ次年度が始まってくるのかなと思えますので、阿部会長エレクトよろしくお願ひしたいと思えます。以上で、会長挨拶とします。

■幹事報告

村上堅二幹事



○白河ユネスコ協会会長 小野利廣：
令和6年度白河ユネスコ協会第1回役員会の開催について（通知）

○白河市緑化推進委員会会長 鈴木和夫：
令和6年度「緑の募金」について

(依頼)

○ガバナー右近八郎：台湾東部地震支援金取り纏め及び海外送金について

■深谷ノースロータリークラブとの交流会の報告

金田昇会員



皆さん、こんばんは。4月8日に、深谷ノースロータリークラブのメンバーの方たちが白河の地にお出でになりまして交流を深めることができました。それについてちょっとお話をさせていただきます。昨年からです、深谷ノースロータリークラブからお電話がありまして、深谷市長の小島市長が白河に行って白河市長と懇談したい。その理由としては、今年の7月に渋沢栄一公の肖像画をかたどった新札が出るので、渋沢栄一公のゆかりの地の市町村も含めた所にご挨拶行きたいということの一環らしいです。それで来ていただきまして、白河市長との懇談を実現することができました。当日は、午後2時に南湖神社の所でお待ちしておりまして、ノースクラブのほうから9名いらっしゃいました。その後、市長さんと秘書さんは別件でおいでになりました。それで、南湖神社を簡単に参拝していただき、その後皆さんでこのご縁を作っていただいた林利勝会員の墓前であります関川寺のお寺に行きまして、そこでご焼香させていただきました。その後、小峰城ちょうど桜が咲き始めたところだったんですが、小峰城を散策していただき、そこに米沢中央ロータリークラブとの記念の植樹したやつがありますね、コメツガの木。それを見ていただいてご感想をいただきました。後々、そんな記念樹でも植



えたいねというお話もいただきましたので、また何年か過ぎたらそういう機会がありましたら、友好の証としての植樹とかモニュメントとか、そういうものも含めてやっていただけるかなというふうなお話しがいただきました。その後ですね、一旦ホテルに帰っていた後、先程会長のほうからお話ありましたとおり、市役所において白河市長鈴木和夫市長と深谷の小島市長の間でお話し合いをいろんな忌憚のないお話し合い意見交換をしたようです。私たちも最初の時間だけ同席してご挨拶させていただきました。その後ですね、「グランドエクシブ那須白河」の宴会場におきまして交流会を開きました。深谷市長、それから秘書室長、それから白河鈴木和夫市長も参加いただきまして、全部で26名の大人数で交流を深めることができました。いろいろお話もさせていただきました。今後に繋がるのかなというふうに思っております。当日ですね、シスター委員長はご参加できなかったんですけども、私委員ということもありまして同席させていただきました。また、当時の締結した時の会長ということもありまして、責務を果たせたのかなというふうに思いました。また、これから交流会等々も他の姉妹クラブとの交流もさらに深めていけたらなというふうに思います。少人数しか参加できなかったんですが、次回は例会にも来ていただけるようお願いしたいなと思います。以上で報告といたします。ありがとうございました。



■各委員会報告

十文字光信副幹事



皆様、こんばんは。副幹事の十文字です。次年度体制に向けたご報告をさせていただきます。一つ目が、第一回クラブ協議会を令和6年4月23日火曜日、6時半から「赤門」さんにて予定をしております。次年度対象となる会員の皆様には週明けご案内させていただきますので、是非ご参加のほどよろしくお願

たします。二つ目が、国際ロータリー第2530地区より地区研修協議会の開催のご案内が届いております。こちらは5月19日日曜日の9時半から閉会が16時となっておりますが、こちらも対象となる会員の皆様には週明け改めてご案内させていただきますので、是非ともご参加の程よろしくお願いたします。

○親睦活動委員会

吉成真五郎委員長



皆さん、こんばんは。親睦活動委員会から観桜会のご案内をさせていただきます。4月25日18時半から「スパホテルあぶくま」にて会費4千円にて開催いたします。今回服装は自由ということで、というのは温泉に入ることができますので是非皆さん、バスも1時間ほど早めに到着するように手配しておりますので、温泉に入って浴衣でも着てリラックスした形で参加していただければというふうに思っております。10日ということで締め切り一回してるんですけども、まだ出欠が出てない方が多くいらっしゃいますので、これから名簿を回しますので皆さま出欠のほうお書きいただければと思います。どうぞよろしくお願いたします。

■本日のプログラム

○会長エレクト研修報告会 阿部克弘会長エレクト



皆さん、おばんでございます。会長エレクトの阿部克弘です。私は皆さんが存じのように2010年10月1日入会。金田パスト会長が会長をされてる時に入会させていただきました。今年の10月で14年になりますが、皆様の会長ということを仰せつかって大変不安に思っております。何故かという、今までの中で一番最低な会長候補者じゃないかなというふうに自分では思っております。7月からきちんとやっていけるのかなというのが、私の今の率直な感想でございます。本当に私以上に皆様のほうが不安に思っているんじゃないかなと思っておりますが、なんとか皆様のご協力を仰ぎながら頑張りたいと思っております。それでは、早速報告をさせていただきます。研修会は2024年3月2日土曜日から3日日曜日にかけて、磐梯熱海の「ホテル華の湯」さんのほうで開催してまいりました。会長エレクトの方が皆さん結構集まりまして、ガバナーエレクトの早川敬介さんが中心となって新しい会長候補者に研修をや

っていただきました。そこには、ガバナーノミニエグジネートの金田さんもいらっしゃいまして、全然誰も西ロータリークラブから参加されてる方がいないのかなと思って不安だったんですが、大変心強い方がいらっしゃいましたので、何とか頑張っけて受け取りました。次年度に向けて早川ガバナーエレクトのほうから、次年度の目標を達成するための計画を立てるということで5つの計画を発表ありました。クラブがクラブセントラル100パーセントを入力し、全クラブが受賞を受けられるよう支援してまいりますということです。次に、会員増強ゾーンAの地区全体で会員増強を図り、会員減少からの脱却を図る。今現在、会員が減っております。会員増強がこの2530地区には一番大事な、そしてクラブにも大事な最重要項目となっておりますので、それに向けてガバナーエレクトも頑張っけてやっけていこうという考えでおります。また、ポリオ根絶に向けて、ポリオプラスへの寄付額ゼロクラブをなくすということを目指しております。我がクラブは寄付額はきちんと達成しております。次に、ロータリーファミリーの活用を推進するというので、このロータリーファミリーというのはクラブにメンバーさんの家族やそれに付随する方。それから、全クラブメンバー。それから、ローターアクト、インターアクト。そういう人たちも含めての、皆さん一緒に頑張っけてまいりましょうということです。それから、ロータリー財団の地区財団活動資金と国際財団資金の活用を推進するということを言われております。我がクラブの次年度は、地区の財団の資金を活用するイベントを今計画をしております。地区のほうに申請書を出してそれが通れば、それに向けて頑張っけてまいりたいと思っております。会長エレクトの勉強会がほとんどだったんですけども、地区ラーニングファシリテーターの芳賀裕さん、福島中央ロータリークラブの方や、現在ファシリテーターやっけてらっしゃる平井義郎さん。この方も福島中央ロータリークラブのバスターガバナーさんなんですが、クラブの運営と活性化とか、良い会長になるにはとか、強いクラブを作るにはとか、私たち会長予定者がどのようにやっけていったらいいのかというこの指導がありました。リーダーシップをどう図っけていったらいいのか、出していったらいいのかと、そういう事を中心とした研修会だったわけですが。これは皆さんも会長エレクトになった場合には、こういう研修会を一日泊りがけでやるようになりますので、是非皆さん手を上げてやっけていただくよう

な頑張りをを見せていただければなというふうに思っております。それでは、これは会長方針とちょっとダブってしまうところがありますが、この地区の財団活動資金を利用してどのような事を私の年度でやりたいかということをお知らせをしたいなというふうに思っております。その前に、地区の運営方針として先程も言ったように早川敬介ガバナーエレクトが、そのガバナーエレクトの研修会でやってきたことを中心に話をさせていただきました。2024-25年度のステファニー・アーチックR I会長、この方は女性の会長さんなのですが、この方のテーマは「ロータリーのマジック」「The Magic of Rotary」ということで、それに向けて2530地区としては、世界で良い事をしよう、地域で良いことをしようを掲げて活動し、ロータリーを楽しもう。そして、実践していきますということが、早川ガバナーエレクトのテーマでありました。クラブの文化を会員の積極的に活動し、世界で地区で存在感のあるクラブ地区となり、平和の実現に寄与できる活動をするということを掲げておりましたので、私はその赤い文字で地域でオンリーワンの存在感のある活動をしてまいりたいなというふうに個人的に思っております。そして、その活動の一つがメイン事業として考えているのが、ロータリー財団の地区活動資金を推進するということ、社会奉仕活動の中で補助犬の応援活動をやりたいなというふうに思っております。このロータリーのファミリーの活用を推進する。これはロータリーのメンバーさんの家族を、積極的に参加して頑張っていたきたいなということをお願いしたいなというふうにも思っております。それでこの補助犬応援活動はどういう事かといいますと、身体障害者補助犬法というのが今、制定されてるのはもう皆さんご存じだと思うんですが、公共施設や公共交通機関、またはスーパーやレストラン、ホテルなど不特定多数の人が出入りする民間施設などに、補助犬同伴の受け入れを義務付けています。しかし、レストランやホテルなどでは他のお客様への配慮などを理由に、補助犬の同伴を断るといった不適切な対応も未だに見受けられますというようなことですね。法律や補助犬の役割について、理解し施設の方も周囲の方も補助犬の同伴を温かく受け入れていただきたいというのが私の個人的な意見でもあり、これから推進していきたいなというふうに思ってるんですね。皆さんもご存じのように、私は犬バカで犬しか取り柄がないもんですから、そういうのを自分の得意

な分野を皆さんにはなかなか理解して貰えるかわかりませんが、その辺を重点的にやりたいなと思って、こういう事を考えました。皆さんも見たことあると思うんですが、これが補助犬マークですね。補助犬というのは、盲導犬、介助犬、聴導犬、この3頭が補助犬というふうに言われてまして、この3頭を同伴してる人がいたら、必ず公共施設、または不特定多数の所の方は受け入れるというのが法律で決まっております。盲導犬は視覚障害がある人ですね。介助犬は体に不自由のある人をサポートする。聴導犬は耳の問題がある方、そういう方を音で誘導するという、これも特殊な能力なんですけども。こういう方がこういう補助犬が必要な人たちが世の中にはいるということ、皆さんはもうご存じだと思うんですが、そういう方たちがちょっと虐げられてるところも散見されますので、そういうところをやってきたいなというふうに思っております。「盲導犬応援プロジェクトin白河2024」ということで、今年の9月1日曜日、白河文化交流館「コミネス」の小ホール。主催が白河西ロータリークラブということで、後援が福島県、協力が福島県動物愛護センター。趣旨は、日本盲導犬協会仙台訓練センターへの協力を行うと。内容としては、盲導犬ユーザーの実体験を発表していただき、また仙台の訓練センターの職員さんによるPR犬と一緒にデモンストレーションでその必要性や重要性をアピールするところなんです。その福島県庁の保健福祉障害福祉課に福主査の鈴木祐花さんという方がいらっしゃるんですが、この方は盲導犬のユーザーさんで、職員として頑張ってる方なんですね。現在も本庁のほうで頑張ってる方とあっていて、この方を当日はお呼びし、福島県には17件盲導犬を使ってらっしゃるユーザーさんがいらっしゃるんですが、白河市には一人いらっしゃるそうです。その方にも今アプローチをかけて、その方の実体験なんかもお話をいただければなというふうには思っております。これは平成4年の田村市の福島県のコミタという所で動物愛護週間に盲導犬が来て、そのやったものを。音声なしでちょっと動画だけ見てください。当日はこのような職員さんと盲導犬のPR犬が実際に来ていただいて、皆さんの前でデモンストレーションをさせていただきます。これも盲導犬もなかなか難しい訓練を受けて、目の見えない方の目となって頑張る犬なんですね。ですから、公道とかそういう所を歩く場合なんかは、本当に自動車の危険に遭ったりとか、そういう事も多々あ

るようなんですね。そういうところから守ってくれるワンちゃんになります。こういうワンちゃんを当日来て皆さんの前でデモンストレーションをする。それから、その鈴木祐花さんもこの盲導犬を連れてまいりますので、そういう人たちの実際の声を聞いていただければなと思っております。こういう盲導犬のイベントをやってそれで終わってしまったんでは自己満足でしかなくなりますので、これが継続的な事業になるかどうか私もよくわかりませんが、個人的にはこういうふうなイベントをやって、そういうところを出た意見なんかを関係団体や行政へフィードバックしていきたいなというふうに思っております。福島県のほうも、今こういう事に力を入れてるようで、本来は向こうさんのほうから共催を申し込まれたんですね。ただ、補助金を申請する際にその共催はちょっと駄目なんです。共催ですと補助金が下りないと、地区の補助金が下りないということです。主催はあくまでも西ロータリークラブ。そして、共催ができないということでそれでは後援をしたいと、後援を是非したいということで、後程皆さんにもお知らせしますが、そういう申請書を出さなくちゃなりませんし、白河西ロータリークラブの今現在のどういう団体なのかということで、年次計画書に書いてある定款とかそういうものも県のほうは欲しいというふうに言っておりますので、皆さんにちょっとその辺はご了解をいただければなというふうに思っております。当然その個人情報のは全然出すことはしませんので、是非ご理解をいただければなというふうに思っております。また、補助犬マークを作成し、公共施設や病院、スーパーやレストランなどへの配布を行っていききたいという、これは私の希望であります。まあそれだけの予算があるかどうかちょっとまだ未定なので、私としてはなかなか難しい。今後、これから進めていく時に考えてまいりたいなと思っております。私の時間の範囲内で説明させてもらうには、ちょっと時間が少ないかなというふうに思いますけども、またその他の継続事業と云っていいのかどうか、白河西ロータリークラブで今までやっている青少年委員会のC K B野球大会とか、職業奉仕委員会の移動例会とか、また親睦活動委員会の家族納涼会とかクリスマス会とか、こういうものは新しい委員長さんに頑張ってもらえばなというふうに思っております。なかなか難しいコロナも明けて、だんだんとそういうイベント等ができるような体制になってまいりましたので、これからそういう事が多くなって

ると思います。先程の2番目のロータリーファミリーの活用というか、ファミリーに頑張ってもらいたいというところで、家族の方がそういう方たちに出てもらえればなというふうに思っております。これもクラブの目標としてまだ決めているわけではないんですが、私の年度としてはいろんなことに思いやりがある感謝の、私39代会長なのでサンキュー会長なんですね。ですから、感謝のロータリーということで、いろんな新しい方や古い方いらっしゃるんですけども、お互いに思いやりを持って感謝の気持ちを持って、このロータリー活動をしていただければなというふうに思っております。それは私が一番感じてること、福島からこちらに来てもう30年にはなりますけども、ロータリークラブに入会させていただいてもう14年になります。その間、いろいろアドバイスをいただいたり、感謝の念を持つような言葉もいっぱいいただきましたので、そういうところでもっとこのロータリークラブの皆さんの気持ちをそういうふうな思いやりがある感謝のロータリーにしていけたらなというふうに思っております。最後に、健常者や障害者、これ分け隔てのない社会づくりというのがやっぱり一番大切かなというふうに思いますけども、その一番の障害になっているのはやっぱり心の障害。心のそういう気持ちが取り除かない限りは、健常者や障害者が一つの社会で生活することがなかなか難しいというふうに私は思っておりますので、その心のバリアフリーというか、ユニバーサルデザインですか。そういうのを取り除いてもらえれば、一番世の中が良くなる。それがロータリーの活動にも続いてくるのかなというふうに思っております。それを最後にちょっと会長エレクトの研修報告とは程遠かったかもしれませんが、以上で報告とさせていただきます。ありがとうございました。

■閉会点鐘

佐藤幸彦会長

阿部会長エレクト、お疲れ様でございました。早速ですが、思いやりという言葉が入りましたので、思いやり心遣いをするために、皆さん閉会点鐘終わった後に名札をしものテーブルの片隅にまとめて置いていただくと、多分S A Aの方が助かるんじゃないかなと思いますので、さっそく阿部エレクトに使わせていただきましたので。それでは、閉会いたします。お疲れ様でした。